

市立大学検討の『今』

市民と共に考える、大学

ワークショップを開催しました

大学のあるまちの姿を想像し、大学の立地や将来の学生確保の観点から、選ばれる大学に必要な要素を参加者同士で出し合い、整理・共有する「北上市立工科大学（仮称）魅力アップワークショップ」を全2回の日程で開催しました。

第1回 エリアごとの特徴と「大学×まち」の視点出し

第1回は「エリアごとの特徴と『大学×まち』の視点出し」をテーマに、大学の立地を考える回として6月28日にhokkaidoで開催し、40人が参加しました。参加者は6グループに分かれ、まずは、学生や教職員の立場をイメージしながら大学の立地に求められる視点を挙げました。その後、それらの視点を実現できる場所について意見を出し合いました。各グループからは、「アクセス」「生活環境」「企業との連携」「にぎわい・交流」などが重要な視点として挙げられました。立地についても、まちなかや北上駅周辺、工業団地周辺、北上江釣子インターチェンジ周辺など、多様なアイデアが出されました。



第2回 魅力ある大学の条件探しと期待

第2回は「魅力ある大学の条件探しと期待」をテーマに、将来に渡って選ばれる大学について考える回として7月19日にhokkaidoで開催し、29人が参加しました。

第2回も6グループに分かれ、グループワークを実施しました。前半は、自分が通いたい、または子や孫に通ってほしい大学をイメージし、選ばれる大学に必要な条件を整理。その上で、北上の大学が取り組めることや、大切にすべきことについて意見を出し合いました。後半は、「こんな大学になってほしい」「こんなまちなかになってほしい」という期待について話し合いました。参加者からは「起業など新しいチャレンジが生まれる」「人が集まり交流し高め合える」「企業と連携できる」「まちづくりに積極的に参加できる」「入学が難しくなるほど憧れる」「市民が誇れる」といった期待が挙げられました。市は、引き続き市立大学の設置を目指しています。ワークショップで寄せられた意見や提案は、今後の議論や有識者会議の資料として活用していきます。



「学びとまちの未来を考える講演会」を開催します

三条市立大学の阿ハメド シャハリアル学長を講師に迎え、「地域大学がまちを変える—地方創生の新しい主役としての大学」をテーマに講演会を開催します。

■とき…8月29日(土) 10時～12時

■ところ…日本現代詩歌文学館講堂

※直接会場へお越しください。座席数に限りがあります。

第1回で出された主な意見

【大学の立地に求めるもの】

アクセスの良さ、生活環境の充実、企業との連携、にぎわい・交流

【実現できそうな立地】

まちなか、北上駅周辺、工業団地周辺、北上江釣子インターチェンジ周辺

第2回で出された主な意見

【選ばれる大学の条件】

学びやすさ、魅力ある教授陣、充実した施設設備、産学連携、就職支援、県外からも選ばれる

【大学への期待】

新たなチャレンジの創出、交流と人材育成、企業と連携、まちづくりへの参加、市民が誇れる

全4回の連載をご覧いただき、ありがとうございました。

本連載は今回をもって終了します。

■問い合わせ…政策企画課 ☎0197-72-8229



市ホームページ